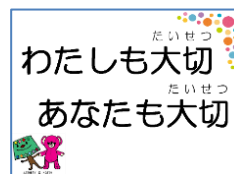


なるおきた

西宮市立鳴尾北小学校
西宮市学文殿町2丁目2番7号
TEL:(0798)47-1051 FAX:47-9507
<https://www.fureai-cloud.jp/naruokie>



学校教育目標 知徳を磨き 健やかな子の育成

学問のすすめ

図書館に、本校教員が子供たちに読んでほしい本を紹介するコーナーがあります。私のおすすめは、「こども『学問のすすめ』」(著者：齋藤 孝 筑摩書房)です。福沢諭吉の「学問のすすめ」が現代語でわかりやすく訳されています。福沢諭吉の熱い言葉に触れることで、「学ぶということの意味」を考える機会になればと願っています。

社会や歴史の教科書に取り上げられ、一万円札の肖像にもなっている福沢諭吉ですが、「『学問のすすめ』の有名な冒頭部分『天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らずといへり』の続きには何が書かれているのですか?」「身分制度が当たり前の時代、下級武士の子供であった福沢諭吉はどのようにして自由・平等の思想を学んだのですか?」と尋ねられた時、大半の人は答えに戸惑うと思います。私もそうでした。

大人向けには、「現代語訳 学問のすすめ」と「現代語訳 福翁自伝」(いずれも齋藤 孝 訳 ちくま新書)をおすすめします。断片的だった知識と知識が結びつき、「わかったつもり」でいた福沢諭吉のことをわかり直すことができます。より深くわかっていくことを通して、新しい世界の扉が開かれ、新たな問いが生まれます。

そのことを子供たちに語っていただけたらと思います。「大人にもわからないことがあります、『よりよいもの』『本当のこと』を求めて学び続けている」「『自分がわかっていないこと』がわかり、自分の問いを立てることが大切である」といった語りが、子供たちを「学問」の世界へと誘います。

夏季休業期間中に 19 日間、放課後キッズルーム事業による「なる北こどもルーム」(右写真)がありました。多い日には 200 名近い参加者があり、通常の第 1 ふれあい教室、第 1・2 図書館に加えて、第 2 ふれあい教室、第 2 理科室を開放しました。



友だちと考えを出し合いながら応用問題に取り組んでいる姿、解き方がわからなくて困っている下級生を上級生がヒントを出しながら教えている姿、教科書を丁寧に読み返しながら、自分の考えをノートにまとめている姿がありました。自分(たち)が学びたいと思うことを、自分(たち)なりの方法で、自分(たち)のペースで探求している子供たちを頼もしく感じました。

今日から 2 学期がスタートしました。引き続き、本校教育活動へのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(校長 河合 純孝)